

けい酸加里肥料の育苗箱施用による水稻の乳白粒発生軽減効果

道上伸宏

摘要

‘コシヒカリ’の乳白粒発生に影響を及ぼす土壌的要因を明らかにするために、県内における水田土壌の理化学性と乳白粒の発生との関係を調査した。また、けい酸加里肥料の育苗箱施用による、苗質向上並びに本田移植後における乳白粒の発生軽減効果について検討した。

1. 乳白粒の多発圃場では作土層が浅く、作土次層のち密度が硬い傾向が認められた。また、可給態ケイ酸濃度が明らかに低かった。
2. けい酸加里肥料を施用して育苗すると、苗のケイ酸濃度が上昇した結果、葉身が硬くなり、直立し、発根が旺盛になることで苗質が向上した。
3. けい酸加里肥料を施用して育苗した苗を1/2000 a ワグネルポットへ移植すると、無施用苗に比べて登熟歩合が向上し、増収する傾向が認められた。また、圃場試験においても登熟歩合の向上が認められるとともに、乳白粒率が2~3%低下し、9段階で評価した検査等級は1~2ポイント向上した。
4. けい酸加里肥料の育苗箱施肥は、安価で省力的な方法であり、シリカゲル肥料に比べて経済性が高く、苗質向上や、乳白粒の発生軽減に対して有効と考えられた。